

実態調査の概要について

1 調査名

第7次千葉市障害者計画等策定に係る実態調査業務

2 業務の目的

令和8年度に第7次千葉市障害者計画・第8期千葉市障害福祉計画・第4期千葉市障害児福祉計画(※)を策定するにあたり、基礎資料とするため、実態調査を業務委託契約により行う。

※ それぞれ障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法に規定する計画。計画期間は令和9～11年度の3か年。

3 調査内容

(1) アンケート調査

以下の区分に沿って、6種の調査票により実施する。

対象者分類	抽出数 (予定)	備考
I 在宅の方	2,700	障害者手帳所持者（精神は自立支援医療受給者含む）から抽出
II 施設に入所している方	600	千葉市から入所している方
III 18歳未満の方と保護者の方	1,000	障害者手帳所持者から抽出
IV 発達障害のある18歳以上の方	250	精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療受給者のうち発達障害の類型の方から抽出
V 発達障害のある18歳未満の方とその保護者の方	50	精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療受給者のうち発達障害の類型の方
	50	千葉市療育センター又は千葉市大宮学園に通っている者で発達障害の類型の方に窓口配布
VI サービス事業者の方	100	市内事業所から抽出
計	4,750	

(2) 障害者団体等ヒアリング

障害者児、保護者・家族、障害福祉サービス等事業者の多様なニーズ等を把握することを目的に、9月から10月にかけて実施予定。

(3) 調査項目

主な調査項目は次ページのとおり

その他、市独自に障害への理解、権利擁護や災害時の状況等に関する設問を掲載している。

	分類	項目
属性情報	回答者	回答者の属性
	性別・年齢・家族など	年齢、性別
		居住地
		世帯構成
	生活動作	日常生活動作の状況
		介助者の状況
日中の活動状況に関する状況・ニーズ等	障害の状況	手帳の種類、等級等
	介護の状況	介護保険サービスの利用状況
	住まいや暮らしの状況	現在の住まい
		地域生活への意向
		地域生活を行うための支援
	日中の活動状況や就労の意向	外出の状況
		外出時の同伴者
		外出の目的
		外出時に困ること
		日中の過ごし方
		勤務形態
		就労の意向
サービス利用に関する状況・ニーズ等	相談相手	就労支援
		相談相手
		情報の入手先
		障害支援区分の認定状況
		サービスの利用状況や今後の利用意向

4 調査項目の検討について

前回調査時に、本協議会や市民の方、障害者団体から「個人調査票の設問数が多すぎて、負担が大きい」とご意見があった。他政令市の実態調査では、設問数も70問程度であり、また回答率が45%を超えていた自治体が複数あった。しかし、本市の実態調査は、設問数が97問で、回答率も約35%であった。

今回の調査では、回答者の負担軽減、回答率の向上のため前回の調査項目から設問を精査し、72問とした。